

## 「令和元年度第 1 回奈良県総合教育会議」における主なご意見

## 大綱全般に関する意見

- ・ 第 2 期大綱の体系は、他分野の施策にも教育の観点から目配りしたり、市町村等との連携等も視点に加えるなど、垣根を取り払ってしっかりやっていく考え方を基本に置きたいという方向性が見えて非常に良い。
- ・ 教育の目的は、生き抜く力をつけること。また、日本最古の国際都市という視点を踏まえ、世界へ文化を発信していくような気概のある人材を育ててほしい。
- ・ 子どもの気持ちに寄り添い学校や家庭で一緒に考える環境をつくることが大事。
- ・ 県内にとどまるだけでなく、県外に出て活躍できる人材も育てるべき。
- ・ 独創的な考えを持つ人、抜き出た人を見つけて引き上げていけると良いのではないかな。
- ・ 小さいときから女性の教育や男女共同参画の観点は必要。

## 教育施策に関する意見

## ○就学前教育

- ・ 就学前教育を教委・知事部局で協力して進めているのはとても良い。

## ○ICT教育・ICT教育環境の整備

- ・ ICT教育環境の整備は大変重要。早急に取り組むべき喫緊の課題である。
- ・ へき地では特に、ICT環境なしでは教育が成り立たない。
- ・ ICT教育を教員だけに任せきりにせず、様々な外部支援を取り入れるべき。高専等の学生も活用できるのではないかな。

## ○県大・県大附属高校

- ・ 設置検討中の奈良県立大学附属高校は、県立大学との高大連携を活かし、地域課題を解決できる人材育成ができる形を作られたい。

## ○社会教育

- ・ 百歳まで心も身体も健康に生きるための社会教育は今後さらに重要性が増す。